



第14回 「Claude Code in Action」 第2回  
Anthropic 公式 Claude Academy

# Claude Code

## 守られる CLAUDE.md

公式の教材を、順番に

原石工房

隠れた才能に気づき、花開く

# この資料について

---



原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）Claude Code in Action / A CLAUDE.md that follows

原文の流れと節の並びをそのままに、要点を落とさず日本語にしています

# 全51回の、今日はここ



原石工房

## Claude Code 101

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

第1回～第12回

## Claude Code in Action

13 14 15 16 17 18 19 20 21

第13回～第21回

## スキル

22 23 24 25 26 27

第22回～第27回

## 手分け (subagents)

28 29 30 31

第28回～第31回

## MCP 入門

32 33 34 35 36 37 38 39 40

第32回～第40回

## MCP 応用

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51

第41回～第51回

## 今日はここ 第14回



## Claude Code in Action の第2回

原題 A CLAUDE.md that follows

訳 守られる CLAUDE.md

第8回 「CLAUDE.md というファイル」の続きにあたります

# このレッスンの流れ

---



原石工房

教材の並びどおり。この番号が、このあとの見出しに出てきます

- ① そもそも CLAUDE.md に書くことなのかを問う
- ② 置き場所は4つ
- ③ 大きくなったら、読み込みで分ける
- ④ 守られるかどうかは、書き方で決まる
- ⑤ 直し続ける

# 長く書くほど、守られなくなる

---



原石工房

原文では、見出しのない書き出しの部分

CLAUDE.md は、放っておくとふくらみます

決まり同士が、Claude の注意を取り合うことになります

うまくいくのは、なんでも書いてある文書ではなく、短くて狙いを絞った文書でした

# ① 書くことなのかを、まず問う



原石工房

原題 First, ask if CLAUDE.md is even the right tool

決まりには2種類ある

こうしてほしい

いつものやり方。多少ずれても致命傷ではない

CLAUDE.md に書く

絶対に破られては困る

破られたら取り返しがつかない

フックに書く

書いておくのは、読んでくれることを願うのと同じ

丁寧なお願いではなく、本物の歯止めにする

願うのか、止めるのか

決まりには2種類あります。こうしてほしい、と、絶対に破られては困る

書いておくのは、読んでそのとおりにしてくれることを願うのと同じです

たいていはそうしてくれます。でも「たいていは」では足りないことがあります

# ① 引きしめるための5つ



原石工房

## ① 絶対の決まりはフックへ

そこで初めて、本当の歯止めになる

## ② 読み込みは整理のため

分けても、読み込む量は減らない

## ③ 具体的に、確かめられる形で

代わりまで名指しする

## ④ 強調は使いきる

本当に大事な2つか3つだけに

## ⑤ しくじるたびに直す

その場で直して終わりにしない

引きしまっているほど、よく守られる

# ① 絶対の決まりは、フックへ



原石工房

決まりには2種類ある

こうしてほしい

いつものやり方。多少ずれても致命傷ではない

CLAUDE.md に書く

絶対に破られては困る

破られたら取り返しがつかない

フックに書く

書いておくのは、読んでくれることを願うのと同じ

丁寧なお願いではなく、本物の歯止めにする

願うのか、止めるのか

道具を使う前に動くフックなら、その手を実際に止められます

丁寧なお願いではなく、本物の歯止めになります

CLAUDE.md にはいつものやり方を、フックには絶対の決まりを

## ② 置き場所は4つ



原石工房

### 原題 The four locations

4か所に置いて、全部が足し合わさる

会社が決める分

外せない。いつでも効く

自分の分

どのプロジェクトにも付いてくる

プロジェクトの分

変更の記録に入れて、チーム全員で

手元だけの分

記録には入れない、自分だけの覚え書き

4つめは、あまり使われていないけれど値打ちがある

会社が決める分／自分の分／プロジェクトの分／手元だけの分

上書きし合うのではなく、全部が足し合わさって効きます

どれも、始めるときに一緒に読み込まれます

上書きではなく、重なって効く

## ② 手元だけの分が、使える

4か所に置いて、全部が足し合わさる

会社が決める分

外せない。いつでも効く

自分の分

どのプロジェクトにも付いてくる

プロジェクトの分

変更の記録に入れて、チーム全員で

手元だけの分

記録には入れない、自分だけの覚え書き

4つめは、あまり使われていないけれど値打ちがある

変更の記録には入れない、そのプロジェクトでの自分だけの覚え書きです

枝を切って作り直している間、そこで決めた組み立て方を置いておく

チーム全体の決まりには手をつけずに済みます

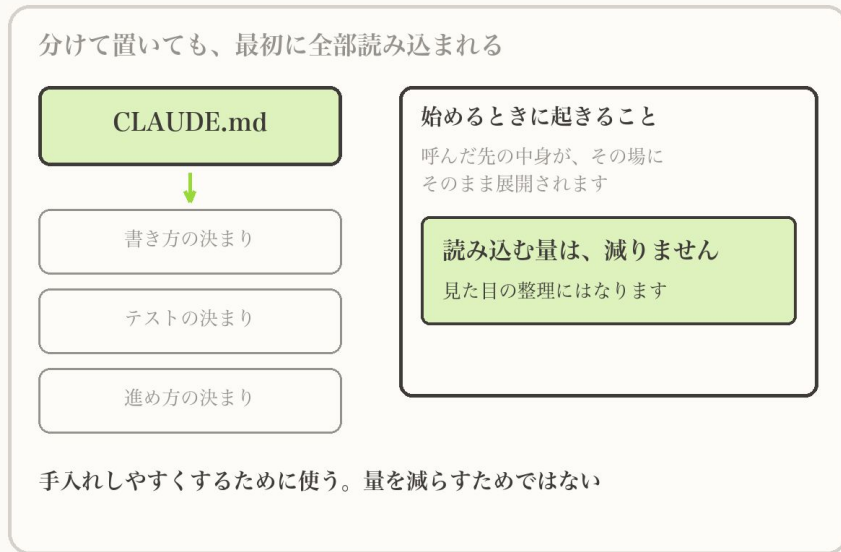
上書きではなく、重なって効く

### ③ 読み込みで分ける



原石工房

原題 Split up a big file with imports



片づくのは、見た目だけ

ファイルの場所を書いておくと、別の文書を読み込みます

ただし、始めるときに呼んだ先の中身がその場に展開されます

読み込む量は減りません。見た目の整理にはなりません

## ④ 守られる書き方



原石工房

原題 Phrasing is what makes rules stick

守られるかどうかは、書き方で決まる

具体的に、確かめられる形で

× いちばん良いやり方で作ること

○ src/api/handlers に置く。1つにつき1ファイル

禁じるだけでなく、代わりを名指し

× 名前を付けない書き出し方を使わない

○ 名前を付けた書き出し方を使う

強調は、2つか3つに使いきる

× 全部に「必ず」と書く

○ 破られたら痛いものだけに付ける

全部を強調すると、何も目立たなくなる

測れない決まりは、守られない

具体的に、確かめられる形で書く。  
測れない決まりは守られません

禁じるだけでなく、代わりを名指し  
する

強調は、破られたときに本当に痛い  
2つか3つに使いきる

## ⑤ 直し続ける

---



原石工房

原題 Keep the file under revision

CLAUDE.md は、書き上がった説明書ではありません

Claude がしくじったら、その場だけ直して終わりにしない

「それを CLAUDE.md に足しておいて」と Claude に言う。決まりの文そのものを書かせます



## 原題 The bottom line

① 絶対の決まりはフックへ

そこで初めて、本当の歯止めになる

② 読み込みは整理のため

分けても、読み込む量は減らない

③ 具体的に、確かめられる形で

代わりまで名指しする

④ 強調は使いきる

本当に大事な2つか3つだけに

⑤ しくじるときに直す

その場で直して終わりにしない

引きしまっているほど、よく守られる

絶対の決まりはフックに移す

整理のために読み込みを使う (量は減らない)

具体的に、確かめられて、代わりが  
名指ししてある形にする

# 今回のまとめ

---



原石工房

長く書いても、よく守られるわけではない

絶対の決まりは、願うのではなく止める

置き場所は4つ。重なって効く

測れない決まりは、守られない

しくじりは、ファイルへの不具合の報告として受け取る

# 次回

---



原石工房

## Claude Code in Action の第3回

原題 Verification skills

訳 確かめるスキル

できたかどうかを、機械に確かめさせる回です

全51回の、15回目です

あなたのファイルは、引きしまっていますか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く